

平成29年度版 MY WAY English Expression I New Edition 編集の趣旨

発行者		教科書	
番号	略称	記号	番号
15	三省堂	英I	324

I. 本教科書のめざすもの

本教科書は、表現する際の基となる英文法を基礎からていねいに学習することを主眼としました。さらに、読んだり聞いたりしたこと、既に知っていることなどをまとめて発表する活動、短いパラグラフを書く活動なども適宜行います。

II. 全体構成

1. 言語材料

中学校、高等学校で学習する文法事項をひとつおとり扱いますが、基礎からていねいに学習していくことを趣旨とすること、2単位の教科書であることを考慮して、基本的な事項に内容を精選しました。（Iで扱えなかった応用的、発展的な文法事項は、英語表現IIで取り上げます。）

2. 段階を踏んだシラバス

基礎からていねいに指導することを意図していますので、中学校で学習した事項などの基本的な内容をていねいに復習した後、少しずつ基本的な文法を学習していきます。ひとつのレッスンに内容を詰め込みすぎることのないよう、配慮しました。

3. 題材の設定

文法の教科書ではありますが、各レッスンには題材内容を設定しました。これは、内容が無味乾燥な文法の例文の羅列になることを避けるため、学習意欲の向上、学習内容の定着の改善につなげることを意図しています。

4. 「活動」の重視

「英語表現I」では、「書くこと」にとどまらずに他の技能、特に「聞く」「話す」も重要視されます。本教科書ではそれに対応するため、各レッスンに短い自己表現の発話または会話を行うUSE!というコーナーを設けた他、リスニングやノートテイキング、発表活動を扱ったProject Workというレッスンを置き、さらに巻末に学習した言語材料を活用した活動Communication Activityを10回分掲載いたしました。

III. 使いやすいレッスン構成

基本的には1レッスン見開き2ページ構成で、左側ページが例文と解説、右側のページが練習問題となっています。「例文の説明」「練習問題の答え合わせ」の繰り返しがちな文法の指導に変化をつけるため、導入のリスニング活動、途中での短いタスクやリーディング活動など、授業を単調なものにしない工夫を施しています。

1. タイトル

題材内容の提示とともに、学習する文法事項を示します。ターゲットとなる文法事項を使わない、導入のための単純なリスニングも配しました。

2. POINTS

文法事項を学ぶための例文および簡潔な解説から構成されています。各レッスンで2つの事項を取り上げていて、それぞれにいくつかの例文を付しました。

3. Check!

POINTSで学習した事項を扱う、簡単な確認問題です。文法事項の提示が一方向的な解説に終わらないよう、生徒が参加する場面を作ることが主な目的です。

4. Grammar in Use

学習した文法事項を織り込んだ、短い英文です。題材に関連した内容で、簡単なリスニング活動を行います。リスニングの補助のため、またリプロダクションなどの活動に使うための日本語の要旨Outlineを添えています。

5. Exercises

文法事項を定着させる、練習問題です。問題の数はある程度の分量になりますが、内容は平易なものです。

6. USE

学習した文法事項を使って、短い英文を作ってみる練習です。指導要領の指定する話す活動をするところでもあります。

IV. 中学校の復習と、英語の基本の確認

教科書の冒頭にGet ready!として、中学校の復習を主とした、英語の基本を学習するページを設けました。品詞、名詞の可算・不可算、冠詞、句型などをていねいに扱います。また、付録に動詞や名詞の活用、数の読み方など、基本的な事項を表にまとめました。

V. その他

- ・似た内容の文法事項を扱う4～5レッスンを、Unitとしてまとめました。それぞれのUnitごとにトビラページには文法事項を大づかみにとらえる内容を掲載、最後には文法事項を横断的に扱うコラム**Grammar for Communication**を置き、理解を深める工夫をしています。
- ・各Unitに1箇所、**Review Exercises**としてまとめの問題を掲載しました。さらに文型・文法の理解・定着を深めることができます。
- ・各Unitに1箇所、英語での発表活動などを扱う**Project Work**というコーナーを設けました。
- ・巻末には、Lesson 1～25で学習した言語材料を活用する活動のコーナー**Communication Activity**を10回分掲載いたしました。